

平成23年秋の叙勲、第17回危険業務従事者叙勲 受章おめでとうございます

秋の叙勲は、国家または社会に対して顕著な功績を挙げた人や公共的業務に長年従事した人に、また、危険業務従事者叙勲は、警察官や自衛官など危険度の高い業務で実績のあった人にそれぞれ授与されるものです。
(総務課)

秋の叙勲 旭日中綬章



■山田 利明さん(中溝)
84歳・地方自治

昭和50年から平成23年までの9期36年の長期にわたり、広島県議会議員を務められました。

受章者の言葉

長年務めさせていただき、おかげでこのたびの叙勲の栄に浴することができました。感謝しております。皇居において、皇太子殿下からお言葉をいただき、感激しています。

秋の叙勲 旭日双光章



■山野智要之亮さん(川角)
75歳・保健衛生

昭和43年に大阪大学大学院卒業後、広島大学病院で歯科医師として勤務され、昭和47年に開業。平成9年から6年間、安芸歯科医師会会長を務められました。

受章者の言葉

このたびの受章は恩ある受章。開業からずっと小学校の校医をしたり、はみがき指導やフッ素塗布などの口腔衛生活動が認められたのではないかと感謝しています。

危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章



■村中 良さん(呉地)
61歳・防衛

昭和41年に海上自衛隊に入隊後、35年間、潜水艦部隊で勤務されました。

受章者の言葉

地域のよき環境のなか、先輩や家族に支えられ安心して職務に専念できた結果であり、あらためて感謝の気持ちでいっぱいです。

(順不同)

危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章



■兒玉 早苗さん(城之堀)
61歳・防衛

昭和44年に海上自衛隊に入隊後、定年までの36年間、看護師として病院、水上艦、陸上部隊で勤務され、平成4年にはカンボジアでの国際連合平和維持活動に従事されました。

受章者の言葉

家族の支えがなければ務められませんでした。とても感謝しています。

広島県読書推進運動 協議会奨励賞を受賞

長年にわたり町内の学校や保育園、公民館、図書館などで読み聞かせなどのボランティア活動を行っている「めだか絵本の会」が、読書普及活動が他の模範と認められ、第40回広島県読書推進運動協議会奨励賞を受賞されました。



読み聞かせの様子

(生涯学習課)

統計功績者表彰 広島県統計協会 会長表彰を受賞

平成23年度統計功績者表彰を、庄賀深雪さん(萩原)が受賞されました。また、平成23年度広島県統計協会会長表彰を、渡邊良江さん(萩原)が受賞されました。

これらの賞は、統計調査に従事し、その職務の遂行において長年の努力と顕著な功績があったと認められる人に贈られるものです。11月18日(金)には県庁で表彰式が行われ、賞状が授与されました。



渡邊良江さん

(地域振興課)

統計調査登録調査員募集

町では、国や県が行う各種統計調査に従事する統計調査の登録調査員を随時募集しています。これは、各種調査の実施前に登録調査員の中から統計調査を依頼するものです。

▽登録調査員の要件

- ・町内に居住し、登録時、20歳以上80歳未満の人
- ・統計調査で知り得た秘密を守ることができ、調査活動を円滑に遂行できる人
- ・警察および税務の業務に直接関係のない人
- ・報道関係者および興信所などの業務に直接関係のない人
- ・公職の候補者の選挙活動に直接関係のない人

▽報酬

国などの基準に基づき支給

嘱託職員募集

●児童クラブ指導員

▽勤務内容
昼間、仕事などで保護者のいない家庭の小学校低学年児童を預かり、児童の安全確保と遊びを中心とした活動を放課後から午後6時まで行います。

▽募集人員

若干名

▽勤務場所

各児童クラブ

▽勤務時間

月～金曜日下校時(おおむね午後2時半ごろ)～午後6時15分(土曜日・夏休みなどは午前8時15分)

▽雇用期間

平成24年1月～平成25年3月(更新あり)

■臨時職員登録申込書を総務課に提出してください。

勤務条件の詳細については、面接時にお知らせします。

●図書館司書

司書資格を有し、パソコンの使える人

▽募集人員

1人

▽勤務時間

火～日曜日午前9時半～午後6時15分週38・5時間(シフト制、土・日・祝日勤務あり)

▽勤務開始日

平成24年4月1日

■平成24年1月16日(月)までに臨時職員登録申込書を総務課へ提出してください。面接による選考の結果により採用します。

問 町立図書館 ☎855・671

生活(福祉) 交通運行計画
第2回ワークショップを
開催しました

11月5日(土)、6日(日)に、生活(福祉) 交通の運行計画策定に関するワークショップを開催しました。9月に開催した第1回に続き、第2回となる今回は、「実際に走って欲しいルート」や「停留所の位置」について、それぞれ意見を出し合っていたきました。「この道は、ぜひ通ってもらいたい」、「ここは道が広がっているので、停められる」など、地域の実情をよく把握された意見が出されました。

次回、12月に開催される第3回では、このワークショップのまとめとして、「ルートや停留所の案」、「このバスシステムを利用したまちの活性化策」の提案を話し合う予定です。
2 問 政策企画課 ☎820・563

02 問 地域振興課 ☎820・56

問 民生課 ☎820・5635

